

第71回 早春のハイキング 裏高尾一丁平

第11支部 若林商店

幹事 若林裕司

平成27年4月5日（日）曇天

桜花爛漫の候、さる4月5日の日曜日に今年最初のハイキングへ行ってまいりました。毎年4月は、花見ハイキングに決まっています。気象庁の長期予報に負けず劣らずさくらの開花時期を予測してきました、結構時期は逃さず、今年も当たりました、高尾山口駅周辺は、満開のさくらでした。しかし、山の上は、季節が1~2週間遅れていて少々まだ早そうな気配がしていました。

今日の参加者は、磯部、大井、石井、乾、原夫妻、山本、大根田と若林で9名で山に登り、あと下山してからの宴会に森山さんが参加して10人の山行となりました。最近はどこかの山に登ってどこで宴会をするかにポイントが置かれていて、そのためのルート検索もまた楽しいのです。さて集合時間前には、全員そろい出発です、生憎天気予報だと曇り一時雨で駅前での人出も非常に少なくボーイスカウトの団体がいただけで、いつもみかける中高年のグループは皆無、ケーブルの切符売り場では誰も並んでいません、昨日の予報で雨マークが並んでいたせいでしょう。

さて、ケーブル乗り場前で「登りが苦手な2名」と別れ花見ポイントの一丁平で待ち合わせることにして我々は、稲荷山コースからの登山開始です。このコースは、ゴールデンウイークには渋滞が起きるぐらいの定番コースですが今日それが嘘のような静けさです。途中の見晴らし台では遠目は全く見えず秀逸は「うぐいす」の声を今年初めて聞いた事で、いっきに一丁平へ登りつめました。皆さん涼しい顔してますが、私はもうへとへとです。もうすでにケーブル組はベンチで一服していてまさにたばこに火を付けようとした時に到着いたしました。案外時間差が付かないものだと驚きました。

それでは、花見の始まりですが、やはりさくらはまだ1分咲き、こぶしの白や紫の花は満開です、もう1週間早かったです。でも宴会はします 本日は、久しぶりに参加した大根田氏特製ベーコンとチーズの燻製、更に石井氏が背負ってきた缶ビールが9本、それと赤ワイン1本、持ち寄りのつまみなど小一時間ほど飲んでいました。あまり腰を据えて飲むとかえりの下山道で転ぶかもしれませんので程々に切り上げます。

帰り道はさらに陣馬方面に登って城山をすぎて小仏峠を相模湖へと下っていきます。この道はそれほど急なゴツゴツした道ではなく歩き易いコースでした。甲州街道まで出るとバス停があり時間を見ると次のバスまで40分位待ち時間があり、仕方がなくまた相模湖駅まで歩くことになりました。思ったよりも時間がかからず森山さんが待っている駅前の「かどや」に無事到着しました。打ち上げの記念写真も撮り、乾いた喉に生ビールがしみる、これが最高にうまいビールの飲み方である。ここは、もっともよく寄る飲むところで本来は食堂で

す、だからチキンカツや塩やきそばとか、わかさぎフライなどおいしいのである。しかもびっくりするほど安い！だから、いつも日曜の午後は混んでいるのですが、きょうの天気のおかげで空いている。朝には今にも降り出しそうな雲ゆきでしたが、全く降られず「かどや」まで帰還できて本当にもうけもの一日でした。皆さんも高尾山に来たらぜひここまで縦走して「かどや」で一杯やって見てください。お疲れ様でした。